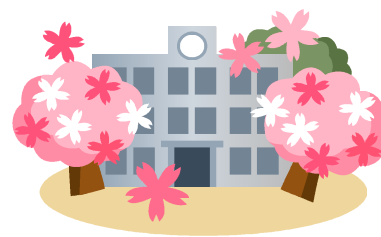


令和7年度 浦庄小学校 学校経営方針

- 1 校訓 「興道」 学校教育の象徴である「校訓」 その象徴を大切に
※休まず 心をこめ 力をあわせて やりとげよう
(『校訓「興道」の心』 近藤克弘 元校長 から)



2 学校教育目標

「校訓『興道』のもと、人間性豊かでたくましく生きる力をもった児童を育成する」
～「聴く・話す・学び合う」ことで『深い学び』を実現する～

3 めざす児童像・めざす学校像・めざす教職員像

【めざす児童像】

○自分に必要なことに気づき、こつこつとがんばる子

・今必要なことは発達段階により個々に違いがあるが、自分が今した方がよいことに気づかせ取り組ませることができればその子は伸びる。

○友達とともに伸びる子

・自分も友達も大切に思い、集団生活の中で伸びていく子を育てたい。そのためにも「ありがとう」と言い合える人間関係を育ててほしい。

○健康で明るく元気な子

・前向きに、過信でなく自信をもち、元気にあいさつできる子どもを育てたい。そのためにもPBSの観点に立ち子どもに一日一度は声かけを。(できれば賞賛の声を)

各学級で「1分間ボランティアタイム(朝の会等:各自で考え行動)」に取り組んでほしい。(褒めやすい)

【めざす学校像】

○笑顔やあいさつがあふれる学校

○家庭・地域から信頼される学校

○美しく安全で安心できる学校

【めざす教職員像】

○一人一人の人権を大切にし、個々のよさを伸ばそうとする教職員

・「(子ども先生とも)共に伸びる学校」にしたい。そのためにはまず先生方が健康で元気でいてほしい。
そして、子ども一人一人の良さを引き出し信頼を勝ち取ってほしい。

○児童・保護者・地域・同僚の意見に耳を傾け真摯な対応をする教職員

・ハラスメントのない安心して働ける職場にしたい。「ありがとう」「すみません」と言い合える、子どもたちのモデルとなる集団、職員室に。保護者の願いは、地域の願い。耳を傾け真摯な対応をしてほしい。

○教育機器を活用し、わかりやすい授業を模索する教職員

・教材研究をしっかりとする。ギガスクールにも立ち向かう。わからないことは、一人で悩まずに、たずねあう。授業のはじまりは、子どもの責任、終わりは教師の責任。時間を守り。

・めあて、ゴール、ねらい等の提示 による視覚化(目的意識の向上)を行う。

4 経営方針

(1)児童一人一人の個性・特性の伸長を図る活動の充実

①一人一人の児童が、自分の子ども（家族）と思って対応を

・4月は『信頼強化月間』普段なんでもない言葉が子どもにつきささる。一言一言に気をつける。

②児童と向き合い、楽しく、わかる授業の実践を（ICT機器の活用推進）

③心の教育の積極的な推進（人権教育、道徳教育、特別支援教育の充実）

(2)情報を共有し、創意工夫して組織で対応

①報告、連絡、相談（ほう・れん・そう）を徹底し、組織内で情報を共有する。

・提出書類は事前に管理職のチェックを。期限を守る。

・気になることは報告・連絡・相談。分からないことは気軽に相談を。

②風通しのよい職場環境づくり（児童や教職員の話題があふれる職員室）

③個人で悩みを抱え込まない。（言いにくいこと、悪い情報こそ速やかに報告を）

・近くの席の同僚と相談。近くの教室の同僚と相談。助け合って進めていく。複数人で複数の仕事を!!

④厳しい状況の時こそ、プラス思考で。（アイディア・意見の尊重・みんなの気付きを結集）

・校務分掌に過少・過多はつきもの。重なった部分は助け合い、進めていく。

(3)信頼される学校づくりの推進

①児童が安全・安心に生活できる学校づくり

②家庭や地域との連携（不登校、いじめ、虐待等の未然防止。通告義務：児福法第25条）

③「教職員の誇りと自覚」を高める取組（職場をあげて不祥事防止!!）

④働き方改革の推進（効果的な教育活動を持続的に行うことができるように）

・教職員の健康があつてこそ。早めの休養、メンタルヘルスの保持増進。

（休みたいときに休める職員集団に。いつも「お互い様」です。）

・子どもの教育のための働き方改革で。柔軟な優先順位決めによる仕事への取り組みを。

※スクールサポートスタッフの効果的な活用

※校務支援システムの積極的活用、GIGAスクール構想への柔軟な対応を

5 本年度の重点目標

(1)学びのかけ橋プロジェクト(幼・小・中の学び連携)を継続し、確かな学力の向上を図る。

～昨年度までの取組をもとに、幼・小・中の連携を一層深める～

「主体的で対話的な深い学び」とは「自分が今必要なことに気づき、少しずつこつこつとがんばる」こと

主体的な学び＝「生徒・児童自身が学習活動を見通し、振り返り、課題を解決していこうとすること」

対話的な学び＝「他者と協働し学び合いをすることによって、自身の考えを広げ深めること」

深い学び＝「生徒・児童の物の見方・考え方を促進させて、理解力や思考力をあげること」

- (2)「浦庄スタイル」をすべての学年の子どもに定着させる
～学年に応じた「聴き方・話し方・話し合い方」ができる～
- (3)校内研修を充実させ、授業改善の取組を進める
～教材研究をしっかりとした授業を行い（公開も含む）、指導技術を高める～
- (4)ICT機器を活用し「わかる授業」を展開する
～子どもの興味・関心を高めて効果的な学習を行う～
- (5)元気にあいさつを交わし、学校生活をスタートさせる
～誰もが大きな声であいさつができるようにする～
- (6)運動に親しませ、一人一人の体力の向上に努める
～外遊びの奨励と水泳や陸上の指導で子どもの運動能力を伸ばす～
- (7)思いやりの心を持ち、自他を大切にする気持ちを育てる（ボランティア精神を育てる）
～「ありがとう」と言える機会を増やし、自尊感情を高め、自他を大切にできるようにする～
- (8)基本的生活習慣を身に付け、健康的な生活ができるようにする
～保護者と連携し、各家庭でも望ましい生活習慣を身に付けられるようにする～

本年度の重点項目

～ 期待して登校、満足して下校 ～

子どもが学校に行きたくなる理由になってください

6 働き方改革の推進

◎1か月あたりの平均時間外在校等時間 45時間（県教委目標値）

『仕事はあるけど今日は帰ろう!!』 ※『遅くまでご苦労さん』（世間はそう見てない）

◎会議資料のデジタル（ペーパーレス）化 事前作成視聴に努める（時間経費節約）

◎始業式、終業式の前後3日間 5時間授業（6時間の日は短縮日課）

チーム浦庄

『向き不向きより前向き!!』『まずはやってみよう!!』

※抱え込まず、複数人で複数の仕事をこなそう

※経験豊かな者から浅い者への知識・技能の継承（伝えよう、学ぼう）

今年1年間よろしくお願いします。